

令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	文教施設の環境対策の推進		担当部局庁	大臣官房文教施設企画・防災部			
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	施設企画課		
作成責任者	施設企画課長 金光 謙一郎						
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	教育振興基本計画			
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		主要経費	教育振興助成費			
施策	2-5 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_2-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	低炭素社会の実現に向けて、全ての学校で、環境への負荷の低減を図るため、学校施設を環境教育や省エネルギー活動に活用できるエコスクールづくりの推進、木材利用を含む学校施設の環境対策の推進及びエアコン整備等に伴うエネルギー使用量の増加が予想される学校の省エネルギー対策の強化等、中長期的な取組が図られるよう情報発信及び普及・啓発を行い、学校設置者の環境対策に関する意識の向上及び知識の向上が図られることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	環境を考慮した学校施設(エコスクール)は、児童生徒等にとって健康的で快適な学習・生活空間を備えるとともに、環境負荷低減を図ることができ、児童生徒等が環境について学ぶ教材として等様々な側面を持っている。 「次期教育振興基本計画について(答申)」(令和5年3月中央教育審議会答申)においては、脱炭素社会の実現に向け、学校施設のZEB化や木材利用、エコスクールの整備等を更に推進することとされている。具体的にはエコスクールの取組を深化し広げることが必要である。また、木材利用についても、防火上の対策など技術的な課題や地域の木材利用推進体制の充実なども課題となっている。他にも、省エネルギー対策については省エネ法が改正されることから、所管事業者への関係施策の理解と更なる省エネルギーの取組意識の向上を図る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	地方公共団体等を対象に、①「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえ、学校施設の木材利用に関する調査研究や事例収集等で得られた知見を全国に発信するとともに、専門家による講演や取組事例等を通じて木材を活用した学校施設づくりの取組を支援 ②省エネ法の主務大臣として、所管する各事業者が省エネ法を適切に遵守するために、定期報告や現地調査等を通じて必要な指導助言を行う。また、①～②について研修会や講習会等を実施し、普及・啓発を行う。						
事業概要URL							
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	12.9	11.1	10.9	11.5	50.4
			-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	12.9	11.1	10.9	11.5	50.4
執行額(G)	2	3	6.4				
執行率(%) =(G)/(F)	16%	27%	59%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	16%	27%	59%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	初等中等教育振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	庁費	4	6	環境を考慮した学校づくりに関する調査研究、学校施設ZEB実証事業、木造校舎の構造設計標準に関するJIS規格内容の検討及び技術資料の検討、「学校等における省エネルギー推進のための手引き」改正に関する有識者会議などを新たに実施する必要があるため。		
	(目)	職員旅費	3	4			
	(目)	諸謝金	1	5			
	(目)	委員等旅費	1	2			
	(目)	教職員研修費	1	1			
(目)	その他		32				
	計(A)	11.5	50.4				

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)	地方公共団体等を対象に、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえ、学校施設の木材利用に関する調査研究等や事例収集等で得られた知見を全国に発信するとともに、専門家による講演や取組事例等を通じて木材を活用した学校施設づくりの取組の支援を行う。また、講習会等を実施し、普及・啓発を行う。								
↓									
<b>活動目標及び活動実績①</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	木材利用の講習会への参加	木材利用の講習会開催回数	活動実績	回	1	1	1	-	-
			当初見込み	回	2	2	2	1	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階としては、受講者が講習会に参加し、木材を活用した学校づくりの取組に対し理解を深め、興味・関心を持つことが重要であると考えられ、まずは講習会に参加し、木材を活用した学校施設に対して興味・関心を持ち、新規に木材を活用した学校の整備を選択する学校設置者や関係者の裾野を広げることが重要となる。							
<b>成果目標及び成果実績①-1</b> (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	木材を活用した学校施設を検討する学校設置者やその関係者の裾野を広げる	講習会に初めて参加した受講者の人数	成果実績	人	-	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	「木材を活用した学校施設づくり講習会」受講者アンケート								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	受講者が講習会に参加し、木材を活用した学校づくりにおいて留意事項や優良事例といった、学校づくりに必要な情報に対する理解を深め定着度が高くなることで、受講者が今後実施する木材を活用した学校づくりの取組に重要であると考え、木材利用講習会に対する役立度をアウトカムと設定した。□							
<b>成果目標及び成果実績①-3</b> (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
	豊かな教育環境づくりや地域の脱炭素化の取組を進めるため、学校設置者等の意識・知識の向上を図る	木材利用講習会に対する役立度(アンケートによる「非常に参考になった」「参考になった」の数値)	成果実績	%	97.8	96	94	-	
			目標値	%	100	100	100	-	
			達成度	%	97.8	96	94	-	
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	「木材を活用した学校施設づくり講習会」受講者アンケート								
<b>アウトカム設定についての説明</b>	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容②</b> (アクティビティ)	地方公共団体等を対象に、省エネ法、フロン法、温対法の主務大臣として、所管する各事業者が省エネ法を適切に順守するために、定期報告や現地調査等を通じて必要な指導助言を行う。また、講習会を実施し、普及・啓発を行う。								
↓									
<b>活動目標及び活動実績②</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	省エネの講習会への参加	省エネの講習会開催回数	活動実績	回	2	2	1	-	-
			当初見込み	回	3	3	3	3	-
↓	<b>成果目標②-1の設定理由</b> (アウトプットからのつながり) <p>講習会が、地方公共団体等における関係法の適切な順守と国の関係施策への理解の深化や取組意識の向上への効果的な支援となるよう、講習会における一方の情報発信だけでなく受講者側の意見等の収集のためアンケートを実施しており、アンケートの項目のうち、講習会の役立度(「とても参考になった」、「参考になった」)をアウトカムとして設定したものを。</p>								
<b>成果目標及び成果実績②-3</b> (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	所管事業者の省エネ法等関係施策への理解の深化と意識の向上を図る	講習会に対する役立度(アンケートによる「とても参考になった」「参考になった」の数値)	成果実績	%	97.8	92	95.7	-	
			目標値	%	100	100	100	100	
			達成度	%	97.8	92	95.7	-	
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	「令和4年度 学校等における省エネルギー対策に関する講習会」 受講者アンケート								
<b>アウトカム設定についての説明</b>	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
	アウトカムとしている所管事業者の関係施策への理解の深化や取組意識の向上は、最新の関係法及び関係施策の動向を踏まえ取り組まれるものであり、短期、中期など段階的なアウトカムの設定はなじまないため。								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称													
	URL													
	該当箇所													
<b>事業所管部局による点検・改善</b>														
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティ①について、長期アウトカム測定指標は順調に推移している。なお、短期アウトカムは今年度から設定するため今後の動向に注視する。</li> <li>・アクティビティ②について、長期アウトカム測定指標は順調に推移している。</li> <li>・令和4年度の執行率が59%となっているが、これは講習会をハイブリッド開催にしたことが要因である。</li> <li>・本事業全体として、国の関係施策に対する地方公共団体等の理解と意識の向上への効果的な支援となっている。</li> </ul>										目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)			
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティ①について、昨年度から動画配信などを実施しているが内容の充実や視聴しやすさの工夫を検討するなど改善に取り組むとともに国費の効率的な執行に努める。</li> <li>・アクティビティ②について、最新の関係法及び関係施策の動向を踏まえ講習内容の充実などに取り組むとともに引き続き国費の効率的な執行に努める。</li> </ul>													
<b>外部有識者の所見</b>														
外部有識者による点検対象外														
<b>行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見</b>														
事業内容の一部改善	この事業は、上昇傾向にあるが一定の不用額が生じているため、手法等の再検討や直近の執行状況等を踏まえ、可能であれば予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。													
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>														
執行等改善	令和4年度に不用額が生じた主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた講習会等の実施方法を変更、縮小せざるを得なかったためであるが、概算要求においては、令和4年度の執行状況等の精査も踏まえ必要な経費を計上しており、状況を注視し引き続き計画的な予算執行に努める。													
過去に受けた指摘事項と対応状況	<b>公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ</b>													
	<b>上記への対応状況</b>													
	<b>その他の指摘事項</b>													
<b>上記への対応状況</b>														
<b>備考</b>														
①木材を利用した学校づくり <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/mokuzou/mext_01759.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/mokuzou/mext_01759.html</a>														
②省エネ法等への取組、学校等における省エネルギーの推進 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/index.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/index.htm</a>														
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>														
平成23年度	33													
平成24年度	26													
平成25年度	100													
平成26年度	103													
平成27年度	98													
平成28年度	95													
平成29年度	98													
平成30年度	99													
令和元年度	文部科学省	-			0098									
令和2年度	文部科学省				0097									
令和3年度	2021	文科	20		0103									
令和4年度	2022	文科	21		0102									

文部科学省  
6.4百万円

- ・庁費 2.5百万円(下記A, B, Dを含む)
  - ・職員旅費 1.2百万円
  - ・諸謝金 0.8百万円
  - ・委員等旅費 1.0百万円
  - ・教職員研修費 0.9百万円(下記Cを含む)
- を含む

【随意契約(少額)】

A. 報告書の印刷製本業務:0.1百万円  
株式会社 ブルーホップ

〔 報告書の印刷製本を行う。 〕

【随意契約(少額)】

B. 木造学校施設 映像制作等業務:0.5百万円  
株式会社 Swimmy

〔 木造学校施設に関する、映像制作および編集業務を行う。 〕

【随意契約(少額)】

C. 「令和4年度木材を活用した学校施設づくり講習会」の運営等業務:0.9百万円  
株式会社 Swimmy

〔 「令和4年度木材を活用した学校施設づくり講習会」について、運営等の業務を行う。 〕

【随意契約(少額)】

D. 既存学校施設改修等の関係法令等に関する図表作成業務:0.7百万円  
株式会社 建築再構企画

〔 既存学校施設改修等の関係法令等に関する図表作成の業務を行う。 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 ブルーホップ	6010001056290	報告書の印刷製本業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 Swimmy	8010401148405	木造学校施設 映像制作等業務	0.5	随意契約(少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 Swimmy	8010401148405	「令和4年度木材を活用した学校施設づくり講習会」の運営等業務	0.9	随意契約(少額)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 建築再構企画	6020001099314	既存学校施設改修等の関係法令に関する図表作成業務	0.7	随意契約(少額)	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック